2021/4-2022/3

ワーケーション最前線から見える景色

編集：
ワーケーション・まちづくりラボ
千曲市の事例から

WORKATION ANNUAL REPORT

目次

0. ワーケーションシップ ～私たちが大切にする在り方～

1. イノベーションの”スイッチ”

1-1. 空間のスイッチ
1-2. モビリティのスイッチ
1-3. ゼロ・カーボンのスイッチ
1-4. 健康のスイッチ
1-5. 人の意識のスイッチ

2. 生まれたプロジェクト

2-1. 温泉MaaS
2-2. トレイン・ワーケーション
2-3. 観光局×鉄道事業者の提携：信越トレインワーケーション
2-4. おせっかいハウス「昭和の寅や」
2-5. ジ・ビーガン×腸活×食事

3. 温泉MaaSによる地域回遊促進結果

4. メディア・講演・支援実績

5. ワーケーションイベント実施実績

6. 事業推進関係者一覧

7. あとがき

(参考)
千曲市ワーケーション事業全体紹介
https://furoshiki-ya.co.jp/workation_lab/
千曲市ワーケーション/温泉MaaS　申込LINE
https://lin.ee/ywFZDF4

©ワーケーション・まちづくりラボ

ワーケーションシップ
Workationship

ワーケーションシップとは、
地域でのふれあいと体験（**Friendship**）をきっかけに
地域と世界を変える行動力と主体性を発揮すること（**Leadership**）。

ワーケーションシップは、地域に関わるすべてのステークホルダー
（行く人・迎える人・送る人）が有する権利（**Citizenship**）でもある。

©ワーケーション・まちづくりラボ

0. ワーケーションシップ ～ふれあいと体験がもたらす行動と主体性～

Workationship
=Friendship
×Leadership
×Citizenship

私たちが直面している現実とワーケーションが担う社会の1ピース

わたしたちが生きている現在では、自分たちの到達したい未来像や解決すべき社会課題に向けて、実行を伴う新しいアイデアが求められています。
これはもはや一部のスキルや場所・地域によってなし得るものではなく、得られた学びも一部コミュニティで閉じるものではありません。
ワーケーションの言葉の広がりと切っても切り離せないコロナ禍の社会において、働き方の自由と自立を促す「ワーケーション」(そして類するテレワークや多拠点生活といった概念)は、日常的に減ってしまった物理的な新しい人との交わりを補う行動として社会での1ピースを担っています。
働き方＋ワーケーション調査(2020年12月公表)
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000008.000020460.html

ワーケーションは「越境」の宝庫

私たちは、千曲市を拠点としてワーケーション体験会、ワーケーションウェルカムデイズをこれまで12回重ね、延べ約370名の人たちとワーケーション体験の共有と対話を重ねてきました。ワーケーションまちづくり・ラボは、地域内外のメンバーが仲間となり、それぞれが主体的に社会を良くする行動を起こし、互いを応援し、支え合い、その学びをオープンソースとして発信しているチームです。ワーケーション体験に含まれる「ワーク⇔休暇」「日常⇔非日常」が折り混ざった時間の過ごすことで、頭と心がほぐれ、視野が広がります。

社会をより良くする「ワーケーションシップ」が育まれている

ワーケーションでの温かいふれあいや体験が、ありのままの自分との対話や理解を促し、社会や地域を前向きに変えていく行動に繋がります。その輪に存在する精神を「ワーケーションシップ」と私たちは名付けます。「自分らしい生き方や自由な働き方を実現する権利」そしてその先にある「社会を良くする権利」とともに、私たちは「ワーケーションシップ」を大切にしています。

©ワーケーション・まちづくりラボ

1. イノベーションの”スイッチ”

やりたい想いとスキルと知恵の新しい交わりがソーシャルグッドの背中を押す。

人には実現したいことがあふれています。それも自分のためだけでなく、人のためにもなる素晴らしい構想も少なくありません。
しかし、仲間やスキル、時間、資金など様々なことが壁となり、始めることすらままならない状況が起きています。特に人と出会い分かり合う機会が少ないコロナ禍の現状は、人が何かを始める機会を遠ざけています。

ワーケーションは、今までの観光旅行では訪れなかった人たちが「ビジネスとしての肩書を持ちながら平日に来訪する新しい旅」という側面を持っています。そして「自分の仕事を通して社会をより良くしていきたい」という想いがある人も多くいます。長期滞在で自由時間が多いワーケーションスタイルは、双方向の語らいと学びを生み、人と人の化学反応を生み出します。このページ以降では、私たちが現実に体感している、「まちの変化のスイッチ」をカテゴリーごとに紹介します。

参考 - ワーケーション実験ノート：

- ワーケーション専門家が体感した「千曲市ワーケーション」が秘める力
  https://note.com/workation_lab/n/n06b68cfa2c1e
- 「人」として「会社員」として考える「意味と価値ある」ワーケーション
  https://note.com/workation_lab/n/n92e6c686603c

©ワーケーション・まちづくりラボ

1-1. 空間のスイッチ

遊休資産を有効活用
全てのフィールドが
ワークスペースに

普段とは違う「働く」ことを軸とした空間の使い方で、使われていない場所や時間がワークスペースとして有効活用されます。

寺ワーク ～実は古くからコミュニティスペースとして使われていた～
古くから月の都と詠われた姨捨に位置し、かつては松尾芭蕉も訪れ俳諧のメッカとなった「長楽寺」、戸倉上山田温泉を一望できる絶景の寺「善光寺大本願別院城泉山観音寺」など、お参りや観光地として使われるお寺をワーキングスペースとして利用。観音寺ではワークショップに加え、眺望を生かした瞑想体験も人気のコンテンツ。

城ワーク ～絶景から生まれる発想～
善光寺平から上田まで一望できる絶景の山城「荒砥城」。
城は戦国時代の侍のオフィスであり、地域を一望出来る立地を生かした、地域をよく深く理解できるワークスペースとして活用。

トレインワーク ～移動時間のデザインと公共交通の魅力再発見～
しなの鉄道の人気観光列車ろくもんを普段運行のない平日に貸し切り、観光列車全体を移動するワークスペースとして利用。３両編成の車両は、車両ごとに趣が異なり、働き方によって場所が選べるのが特徴。

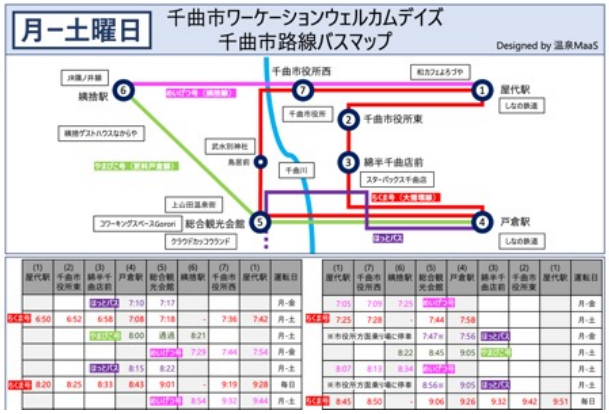
コワーキングスペースGorori ～公共施設の使い方再発見～
戸倉上山田温泉の千曲市総合観光会館内にある和室のコワーキングスペース。かつては芸者さんのお稽古の場としても使われていたが、利用頻度減少のため、コワーキングスペースGororiとして2021年2月にオープン。和室という寝転べる環境は貴重で、温泉街の目玉となっています。

湯治ワーク ～新しい温泉街での横連携の種～
温泉旅館の昼間の客室をワークスペースとして活用。宿泊なしで客室をワークスペースとして利用できるだけでなく、入浴可。宿の宣伝にも。

©ワーケーション・まちづくりラボ

1-2. モビリティのスイッチ

普段意識していなかった交通・モビリティという観点から「街」を見直し



参考 - プレスリリース：

- 長野県千曲市にモビリティ事業団体が大集結！7月1日開催の信州千曲観光局主催「千曲市モビリティFES」に株式会社ふろしきやが協力　https://www.atpress.ne.jp/news/264373

ワーケーションにおける移動課題

千曲市ワーケーションの第1～4回までは、市内のワークスペース（観光会館、河川敷、お寺、棚田、ゲストハウスなど）を参加者に訪れてもらうために、事務局・地元の方による送迎を行っていました。参加者が比較的少人数であれば良いのですが、徐々に参加者が増え、参加者の行きたい場所・期間中の行動も多様化していき、送迎によるツアー形式は限界がありました。そこで、温泉MaaSアイデアソンを開催し、参加者はもちろん、地元の公民の方々にも参加いただき、「移動課題」の共有と「交通手段・公共交通」について改めて認識し、できることは何があるのかアイデアを出し合いました。そこから生まれたのが「温泉MaaS」です。

「温泉MaaS」による自由な移動の実現

2021年5月のワーケーション期間から本格的に「温泉MaaS」アプリが稼働し始めました。タクシー配車予約機能に加えて、スポット案内・検索機能、レンタサイクル予約機能が追加され、回を重ねるごとにチケット決済機能、みんなで作るワーケーションマップ機能、路線バス簡易マップ・時刻表検索機能等が追加されました。

「温泉MaaS」による再発見

地元の方にも積極的に「温泉MaaS」を体験していただくようにしました。これまで馴染みのなかったタクシーアプリ配車は「普段使っているLINEアプリから、こんなに簡単にタクシーが呼べるのか」という発見、路線バス簡易マップでは「バスの路線を初めて意識した」「ここにもバスに行けるんだ」という発見などをもたらしました。

「温泉MaaS」プロジェクトの効果

このプロジェクトの効果として、ワーケーション参加者が自由に移動して思い思いの場所で仕事や食事・交流を行うことにつながりました。一方で、地元の方々にも「公共交通」を再発見し、普段の生活や仕事における「移動」を意識することにもつながったのではないでしょうか。

©ワーケーション・まちづくりラボ

1-3. ゼロ・カーボンのスイッチ

環境問題は地域を超えて考えるテーマ。多様なコミュニティこそ学びの場。

<u>「全員が関わる」＋「それぞれの視野が違う」テーマ：ゼロ・カーボン</u>
普段出会わない人が地域を超えて共に学び合う際の適したテーマの一つがゼロ・カーボンだと考えています。ゼロ・カーボンに向けた取組は日本中に溢れており、場所を変えることで視野が広がります。また、受入側の地域では、自分たちの身近な行動や事業をゼロ・カーボンを軸に編集されることで刺激を受け、双方向で好循環が生まれます。

<u>前向きな「インプット」と取組の「翻訳」の重要性</u>
ワーケーションといった多様な人が集まる場でゼロ・カーボンを学ぶことが有益だと感じたきっかけは、世界中に足を運んで実例を知る専門家からのお話しでした。具体的な取組事例とその温度感を講演いただき、ワーケーション体験会で築かれたあたたかい人間関係、多様性を含んだ場で学ぶことで興味が一気に広がります。価値が見直される信州の事例でいうと地産地消を日常的な物々交換、車の乗り合い文化、などがあります。

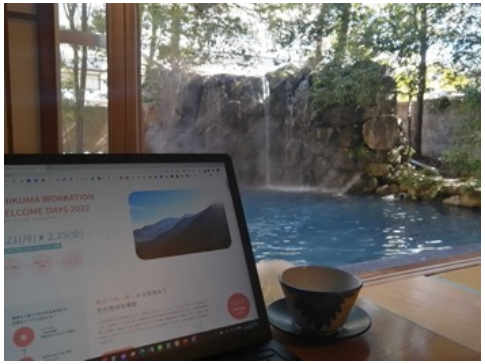
<u>身近にできるゼロ・カーボンを形にしていく</u>
身近な行動や取組を客観的に評価し理解することで、新しく自分たちに出来る取組が見えてきます。身近な例で言うと「食」を絡めた、食べて学ぶコンテンツ(温室効果ガス排出の大部分を占める畜産肉を使わずジビエと地元食材のビーガン料理を組み合わせた次ビーガン料理)、未来を見据えて子供の自由研究にゼロ・カーボンを組み込む企画が行われました。

参考 - ワーケーション実験ノート：
- 環境を、人を癒す？！ワーケーション発祥「ジ・ビーガン」ってなぁに？
  https://note.com/workation_lab/n/n71547053e6d7
- 未来のまちと、モビリティをつくろう～ゼロ・カーボンに貢献する移動～
  https://note.com/workation_lab/n/n11d499922b4b

©ワーケーション・まちづくりラボ

1-4. 健康のスイッチ

信州の名産は体に優しい！スッキリ”はかどる“体験を。体も心も健康的になるプログラムづくりが、地域資源の新しい活かし方に。



体の「内・外」から目覚めて

人が本来持つ力を発揮するため、体をととのえリフレッシュできるプログラムづくりがワーケーションから進んでいます。

無理なく「はかどる」体験をするために、室内での気軽なストレッチ、信州特産物を使った菌活・腸活ランチ、輪読や温泉宿での「湯治ワーク」、瞑想や絶景を楽しむサイクリングを通して、自分のペースでリフレッシュできるプログラムを考えると信州の地域資源の価値が見直されます。

瞑想	腸活	湯治 サウナ	ストレッチ	サイクリング
千曲川と温泉街が見下ろせる善光寺別院で瞑想体験を実施しています。 別院まで15分ほど山を登り、景色と呼吸が楽しめます。	地元名産品を活用した「腸スッキリ弁当」の開発や、排便記録アプリを提供する企業を講師に招き知識をアップデートしました。	温泉宿で仕事をしながら複数施設の温泉利用ができる「湯治ワーク」の実施、サウナを活用して集中できるコンディションを作ります。	トレーナー（NESTA-PFT資格保有）が参加者の体調を加味して独自メニューを作成、無理なく仕事前に体を動かし活力をあげました。	広がる山や川など自然豊かな環境でサイクリングを実施しました。舗装されたサイクリングロードでワークスペースに移動も可能です。

©ワーケーション・まちづくりラボ

1-5. 人の意識のスイッチ

地元行政が参加者になり、受入側メンバーが他地域でワーケーション。交流や学びの刺激が人を動かす

ワーケーションでの体験は参加者に刺激を与えるだけでなく、受け入れ側にも刺激を与えています。ワーケーション参加者に喜んでもらおうと受け入れていた地元の人が、いつのまにか一番ワーケーションを楽しみにしている。ワーケーションで生まれる交流は市外からの参加者だけでなく、地元民同士のつながりを生み、地元行政は支援する側から参加する側になっている。そんなワーケーションから生まれた交流の刺激は地域内には納まらず、他地域へ飛び出すきっかけとなっています。

支援するから参加する行政へ

行政の特徴である、縦割り組織による意思決定だけでは気軽に参加しづらいという課題解決のため、ワーケーションのコンテンツである「官民協働によるアイデアソン」を職員研修として位置づけることで、各部署の職員がワーケーションに参加しやすい環境づくりを行い、これまでで最多となる職員がワーケーションに参加し、それぞれの立場で学びを深めることができた。

- ワーケーション実験ノート：　“支援する”から“参加する”行政へ
  https://note.com/workation_lab/n/n7455b6f93017

学びから得る刺激が貴重な経験に

千曲市ワーケーションの特徴は職種や肩書きを抜きにしたフラットな関係で交流ができること。アイデアソンでは年齢や肩書きの違うメンバーが同じ目線で話し合う貴重な学びの時間。社会経験が少ない若手ほど、インパクトが強く今後の行動に影響する貴重な体験になる。

- ワーケーション実験ノート：「若手こそ体験を！」ワーケーション初心者22歳が体験した学びとは
  https://note.com/workation_lab/n/n06105aa15406

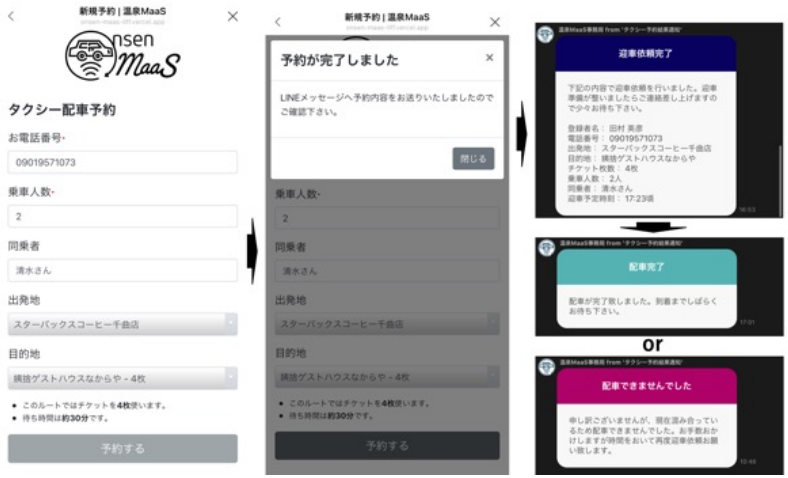
千曲市メンバーが他地域へ

千曲市ワーケーションの参加者が伊豆大島で企画したワーケーションイベントに、千曲市で受け入れ側として携わっていた面々が大勢参加。参加する側の体験が大きな刺激になり、受け入れる側としての新たなステップに。

©ワーケーション・まちづくりラボ

2. 生まれたプロジェクト

仲間が集まり、構想が磨かれ、力を合わせ、持続的なプロジェクトが生まれる



まちに多くのスイッチが入ることで、多くのコンテンツが生まれます。良いコンテンツには多くの賛同が集まり、さらに仲間が増え、社会実装や事業化されるものもあります。その中でも代表的なプロジェクトを順番に紹介します。

仲間が集まるプロジェクトは、どこかの面で公共性と社会性が含まれた取組となっています。しかし、最初からソーシャルグッドな発想だったわけありません。ワーケーションという多様性のあるコミュニティと身近な仲間が合わさり、スモールスタートし、実行しながら磨かれながら形になっているのです。モビリティ、鉄道、空き家再生、居場所づくり、地球にも人にも優しい食事など、まちに入ったスイッチが形になっています。

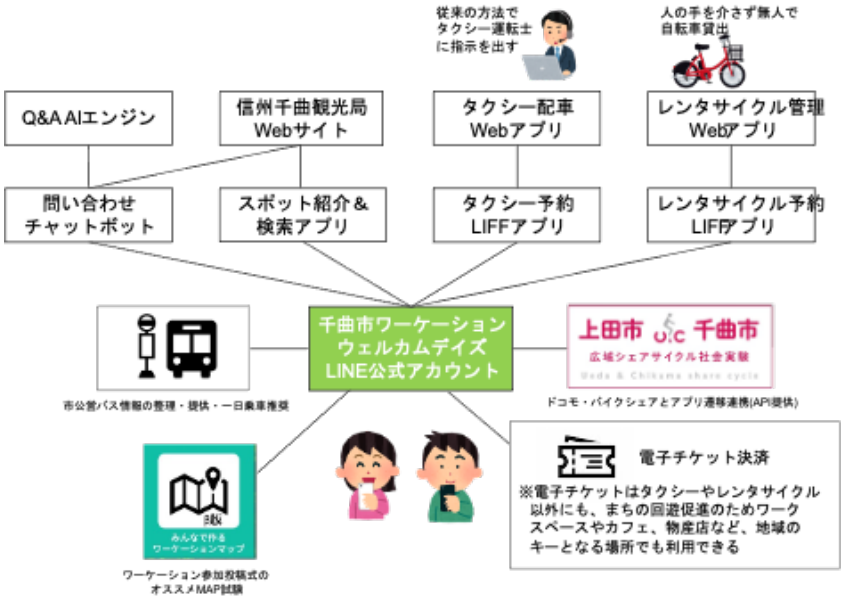
参考 - プレスリリース

- ワーケーション参加者から生まれた新サービス「温泉MaaS」 長野県千曲市で本格実証実験開始
- ふろしきや、信州千曲観光局、しなの鉄道が 「トレインワーケーション体験ツアー」パッケージを順次提供　トレインワーケーションの新たな可能性を形に
- 4月17日「昭和の寅や」グランドオープン！ 上山田温泉街の店舗も集結したオープニングセレモニーを開催

©ワーケーション・まちづくりラボ

2-1. 温泉MaaS

「温泉MaaSって言いたいよね」から始まった参加者の移動支援プロジェクト。



参考 - ワーケーション実験ノート：

- 温泉MaaSは、「温泉MaaSって言いたいよね」から始まりました https://note.com/workation_lab/n/nba38f54663fd

参考 - LINE API Use Case / Technical Use Case：

- 温泉街のある地域全体をワークスペースとして提供！ワーケーションでの移動を助けるMaaSアプリ「温泉MaaS」—地元のタクシー会社への配車依頼をLINEアプリから簡単に https://lineapiusecase.com/ja/technicalcase/zenArchitects.html

温泉MaaSプロジェクト

第4回千曲市ワーケーションにおいて開催された温泉MaaSアイデアソンから本プロジェクトは生まれました。タクシー配車予約機能から始まり、2021年度は以下のようにさまざまな機能が追加され、地元の方にも受け入れられてきました。アプリ開発を地元の方とワーケーション参加者が協働で行うことで、ワーケーション参加者の関係人口化にも貢献しています。

タクシー配車予約機能

当初、一部のタクシー会社（畑山ハイヤー）での対応でしたが、更埴観光タクシーも加わり、更埴地区にもエリアを拡大しました。

レンタサイクル予約機能

上山田温泉街にある自転車貸出サービス（亀清旅館「ずくだしエコツアーズ」）は、多忙な温泉旅館オーナーが時間をぬって運営をしていました。そこで、無人で貸し出せる仕組みを作り、いつでも自転車を借りることができるように温泉MaaSに機能を追加しました。

上田市・千曲市広域シェアサイクル社会実験との連携

スポット紹介・検索アプリに貸し出しポート場所を掲載し、シェアサイクル事業者アプリとの連携を行いました。

路線バス簡易マップ・運行時刻検索機能

ワーケーション参加者向けにワークスポットに近いバス停のみを記載した簡易マップと運行時刻検索機能を提供し、バス利用の促進を図りました。

チケット決済機能

当初の紙チケット運用を、電子チケットによる決済機能に置き換え、参加者増・利用増にも柔軟に対応できるようになりました。参加者同士で割り勘するためにチケット融通機能も搭載するなど、アップデートを重ねています。

©ワーケーション・まちづくりラボ

2-2. トレイン・ワーケーション

普段は運行されていない平日に観光列車を活用、遊休資産を活用しない手はない。

参考 - ワーケーション実験ノート：

- 観光列車でワーケーションしてみよう https://note.com/workation_lab/n/n1f97055f276b
- 思い出すのは個性豊かな参加者との思い出、トレインワーケーションでの感動体験 https://note.com/workation_lab/n/ndbbb02a71e3a

苦境の鉄道業界「トレインワーケーション」が導く新体験と拡がり

列車移動をしながら仕事と観光を楽しむ「トレインワーケーション」は、売上が減少する鉄道業界の活路になるかもしれません。今年度行った3回のトレインワーケーションには、全国からのべ90名程の参加者が集まっただけでなく、県内からの参加者がまちづくりのために意欲的に参加者と交流を図るなど、一次的なイベントに留まらない新たなワーケーションの可能性を明示しました。

働き方ニューノーマルの時代に新しい鉄道資源の活用を

多くの観光列車は、食事のために比較的大きなテーブルが備え、ワークスペースとして有効です。「ろくもん」のように車内のデザインも多様なものもあり、働くスタイルに合わせてスペースを選ぶことも可能であり、ABW（アクティビティ・ベースド・ワーキング）との親和性が高いことが、ほかの移動体によるワーケーション体験と比較しても有利な点です。

個室スペース	カフェ展望スペース	オープンスペース
電話会議や集中したいとき	気分を変えて仕事したいとき	参加者同士で交流したいとき

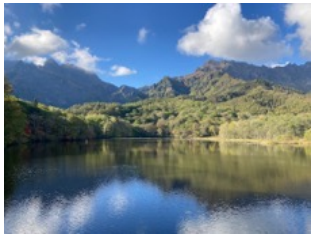
トレインワーケーション広域連携

今年度実施した3回のトレインワーケーションでは、運行する車内だけでなく駅停車中の車内をコワーキングカフェにする取組みもおこないました。時期や参加者層に合わせて自治体・コワークスペース・駅を絡めて、しなの鉄道周辺の広域周遊促進を図りました。
（飯綱町:いいづなコネクトWest、信濃町:黒姫駅カフェ・野尻湖周辺、上田市:上田駅周辺、東御市:田中駅カフェ、軽井沢町:軽井沢駅カフェ）

©ワーケーション・まちづくりラボ

2-3. 観光局×鉄道事業者の提携：信越トレインワーケーション

**日本初！観光列車乗り継ぎ
長野と新潟の県を超えた
トレインワーケーション**



公共交通と地域の継続的な連携強化の必要性

コロナ禍による観光業界への逆風は長期化しています。その中でwithコロナでも出来るコンテンツを磨き、新しい取組を継続して取り組む必要性があります。私たちはその中で信州千曲観光局としなの鉄道、ふろしきやの3社にて協定を結び、より継続的に、より新しい価値提供する仲間として連携を強める取り組みをしています。

長野県だけでこの波を終わらせてはいけない、より広域に

ついに千曲市ワーケーションは長野県を超えて新潟県へ。路線の相互乗り入れで関係性の深いしなの鉄道の仲介により、えちごトキめき鉄道も加わった広域の乗り継ぎトレインワーケーションツアーが商品化されました。しなの鉄道の観光列車「ろくもん」とえちごトキめき鉄道「雪月花」の観光列車を乗り継ぐ山から海まで満喫出来る新しい連携が生まれました。

鉄道乗り継ぎに広域になることで生まれたメリット

鉄道が乗り継ぐことで生まれたメリットは大きく2つあります。

①ワーケーションに力をいれている地域をつなぐプランが作れる
新潟県糸魚川市に観光列車を停め、糸魚川市の関係者と交流し、一つのツアーで多くの地域と関係を深めることが可能になります。

②多様な魅力をもつプランが作れる
初日の宿泊は新潟県赤倉温泉、2日目の宿泊は戸倉上山田温泉と違う地域の温泉を入り比べることができ、戸隠での神社作法講座やEバイクでのサイクリングなど旅行としても大満喫の内容ができています。バス等の交通手段も広く活用でき、巻き込める範囲も広がります。

中心となった千曲市はもともと他市へのアクセスがよく、広域観光の拠点となる好立地です。今回の地元地域を超えたワーケーションプランは、ワーケーションにとどまらず、千曲市の広域観光という面でも大きな実績となっています。

©ワーケーション・まちづくりラボ

2-4. おせっかいハウス「昭和の寅や」

ワーケーションの出会いをきっかけにコミュニティスペースをオープンさせた「昭和の寅や」

あっという間に協力者が集まり実現した「昭和の寅や」プロジェクト

映画『男はつらいよ』のような、昭和の世界を感じさせるあったかい場所を作ることを夢見たお金も人脈もないバツ２のシングルマザーの清水さん。
既に姨捨でゲストハウスを経営するオーナーから勧められてワーケーションに参加した清水さんは、ワーケーション参加者の方々にその熱い想いを語りつづけました。
そんな想いに共感したワーケーション参加者が集まり、そこに地元の方々も加わって、企画書作成、信州ベンチャーコンテスト出場、物件探し、建築デザイン、クラウドファンディングの返礼品アイデア出し、資金調達支援、DIYによる内外装改良など力を出し合いました。

プロジェクト発足から約１年で敷地面積660平方メートルの物件を購入、おせっかいハウス「昭和の寅や」は2022年3月10日にプレオープンし、協力者、地元の方々、噂を聞き付けた方々、メディア関係者が駆け付けました。
プレオープンの様子は県内テレビ局ニュースで取り上げられ、ニュースを見た清水さんの高校時代の友人も30年ぶりに訪ねてくることもありました。
古いアパートと店舗は、「昭和の寅や」によってまちの最新注目スポットになりました。

「昭和の寅や」が完成

2022年4月17日(日)にいよいよグランドオープンを迎え「昭和の寅や」チラシも協力者により作成されました。

©ワーケーション・まちづくりラボ

2-5. ジ・ビーガン×腸活×食事

ワーケーションの取り組みから見えたソーシャルグッドな食習慣「ジ・ビーガン×腸活」

ゼロカーボンから学ぶ食事習慣

ワーケーションイベントのコンテンツから生まれた、ゼロ・カーボンに繋がる実践としてビーガンBBQを実施しました。信州食材を使ったビーガン料理に、信州ジビエを取り入れたジビエ×ビーガンから成る造語「ジ・ビーガン」が生まれました。

ジ・ビーガンから見えた腸活

ジ・ビーガンBBQ、ジ・ビーガン弁当を提供する中で新たに見えてきたのが、食事から健康やパフォーマンスを改善・提案できることです。着目したのが「腸活」でした。腸活アプリ「ウンログ」を運営するウンログ株式会社とのコラボレーション企画により、信州食材での腸活提案「腸スッキリ弁当」を開発。街歩きから交流促進を目的とした「腸GOODな特産品マップ」を作成しました。本来腸活に適した食材が多い「ジ・ビーガン」のスタイルに、「腸活」に相性の良い発酵食品とオリゴ糖を加え「腸スッキリ・ジ・ビーガン弁当」が完成しました。

腸活グリーンスムージー

腸活弁当の開発過程でパフォーマンス向上に特化したグリーンスムージーが完成しました。現在地元上山田温泉のフローズンヨーグルト店「フロスタ」にて継続的に販売、まちの健康づくりを担う商品へと昇華し、人にも地球環境にも優しい食習慣へ導く道標へとなっています。

➢ 「腸活ワーケーション」3社協働で生まれた千曲市の新たな取り組み
https://note.com/workation_lab/n/n9deeb031d1bd

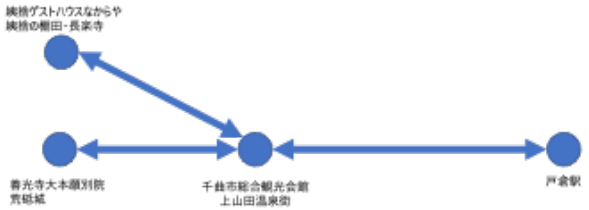
©ワーケーション・まちづくりラボ

3. 温泉MaaSによる地域回遊促進結果

ワーケーションにおける移動課題

千曲市ワーケーションでは、行きたいときに行きたい場所に行けるツール「温泉MaaS」を開発しました。市内のワークスペース（観光会館、河川敷、お寺、棚田、ゲストハウスなど）に、市内の公共交通である鉄道、バス、タクシー、レンタサイクルを活用して移動が可能になります。今年度はタクシー移動のOD (Origin:出発地 – Destination:目的地)データと、温泉MaaSチケット利用データを取得し、タクシー移動とチケット店舗利用の実態を示します。来年度以降は、タクシー以外にも鉄道、バス、レンタサイクルのODデータが取得できるとより移動の実態を把握することが可能となると考えます。

図1：従来の送迎による移動(2020年11月以前)



温泉MaaSによる地域回遊促進結果

タクシーによる移動実態を図2及び図3に示しました。ワーケーションイベントの中心地である上山田温泉街と戸倉駅が約2.5km離れていることからタクシー利用が多くなっていますが、温泉街から放射状にさまざまな場所へ参加者が移動していたことがわかります。図1に示すように、従来は画一的な移動であったものが、温泉MaaSにより参加者が自由に地域回遊してもらい、一定の目的を果たせたと考えられます。

図2：温泉MaaSによる移動(2021年度総量)

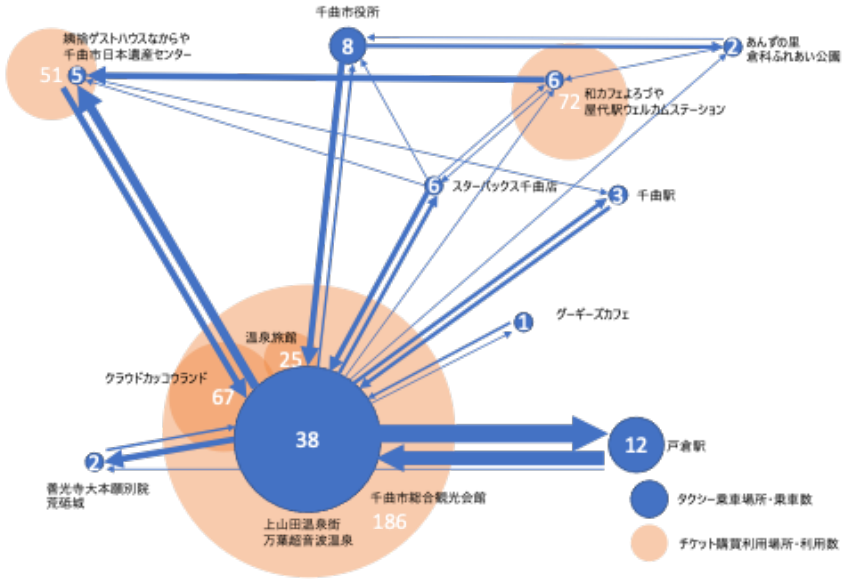
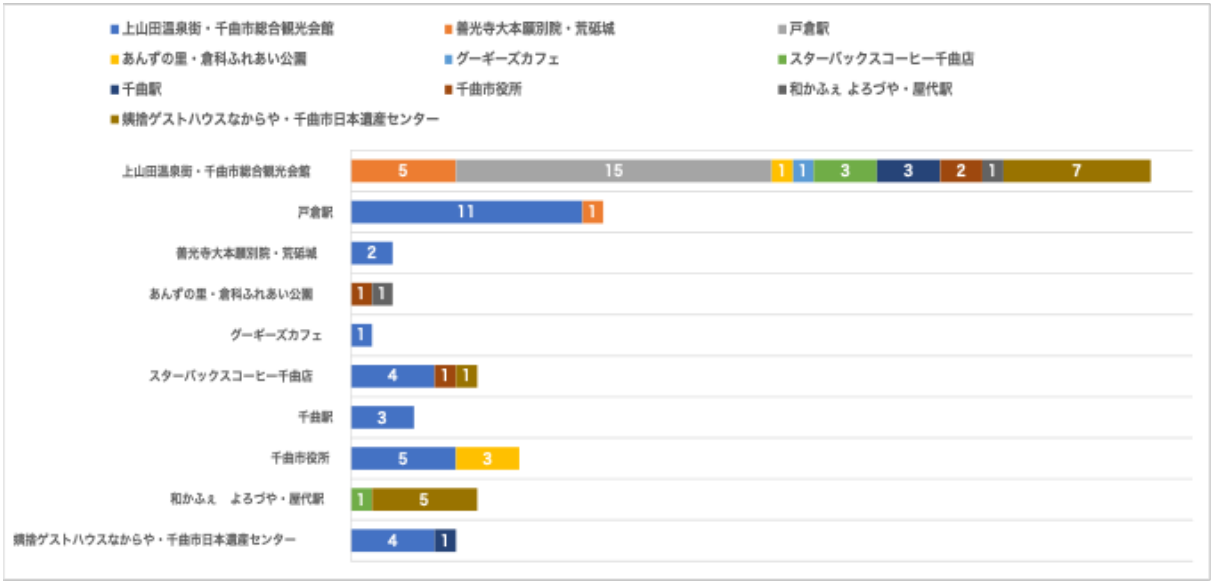


図3：温泉MaaSによる移動始端場所別の目的地移動数



©ワーケーション・まちづくりラボ

3. 温泉MaaSによる地域回遊促進結果

温泉MaaSチケットによる地域回遊促進

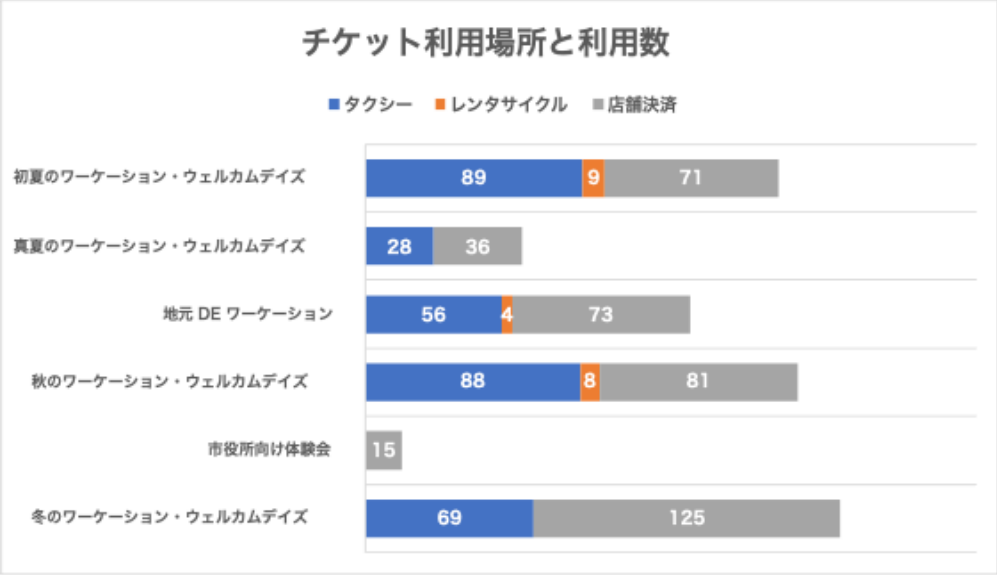
千曲市ワーケーションでは、参加費のなかから地元事業者へ還元することを目的として「温泉MaaSチケット」（以下、チケットと記す）を発行しています。今年度初回(5月)では紙チケットによる運用を行いましたが、その際に開催した「Re:温泉MaaSアイデアソン」において、チケットの繰越利用、チケットのデジタル化の要望があり、2回目(8月)からデジタルチケット化を行いました。

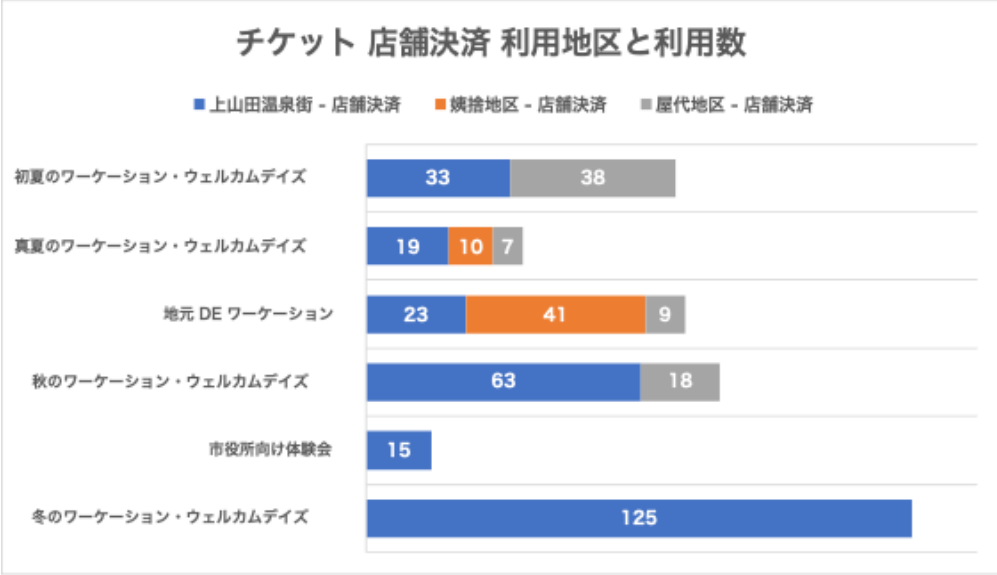
チケット利用場所と利用数について

チケットの利用場所はタクシー、レンタサイクル、店舗決済の大きく3つに分類されます。市役所向け体験会を除き、各回、タクシー及びレンタサイクルの移動利用と店舗決済利用が両方行われています。冬のWWD(WWD：ワーケーション・ウェルカムデイズ)では、上山田温泉街における店舗決済できる利用場所が増えたことから、店舗決済が増えました。

チケット店舗決済の利用地区と利用数について

店舗決済の利用地区は、上山田温泉街、姨捨地区、屋代地区の大きく3つに分類されます。初夏のWWDでは、上山田温泉街と屋代地区がほぼ同数の利用がありましたが、屋代地区はその後減少しています。屋代地区では屋代駅ウェルカムステーションのお土産購入利用が多かったのですが、アナウンスが不足していたと考えられます。真夏のWWDと地元deワーケーションでは、姨捨地区の利用がありますが、姨捨ゲストハウスなからやでビール販売をしたことが大きく寄与したと考えられます。 冬のWWDでは腸活セミナーに合わせた腸活ギフトを用意することで、多くの利用が生まれています。





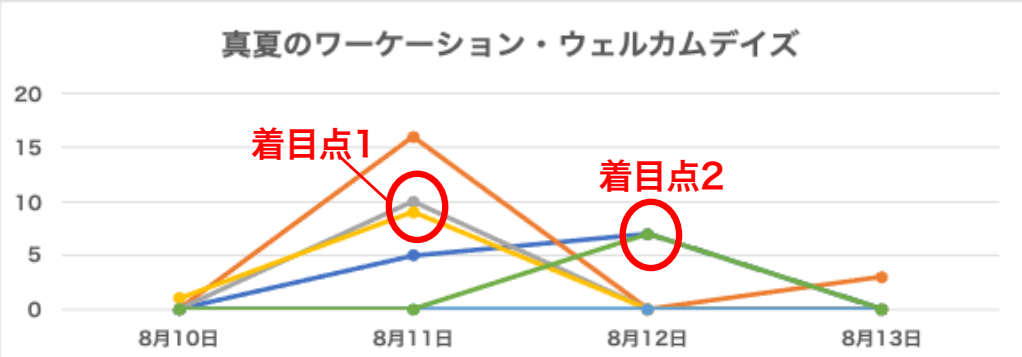
©ワーケーション・まちづくりラボ

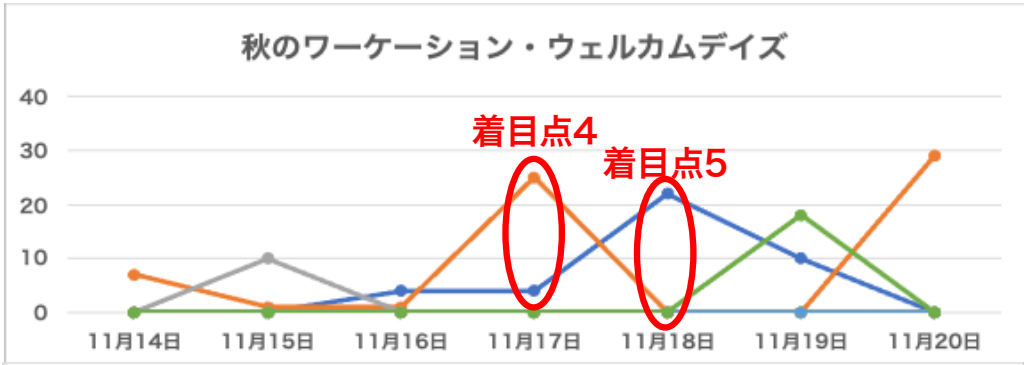
3. 温泉MaaSによる地域回遊促進結果

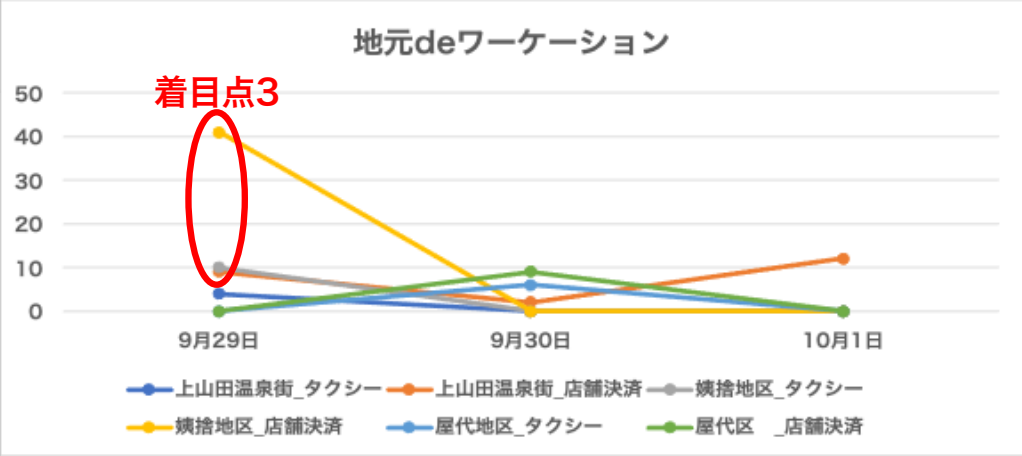
<u>温泉MaaSによる移動と店舗決済の相関関係</u>

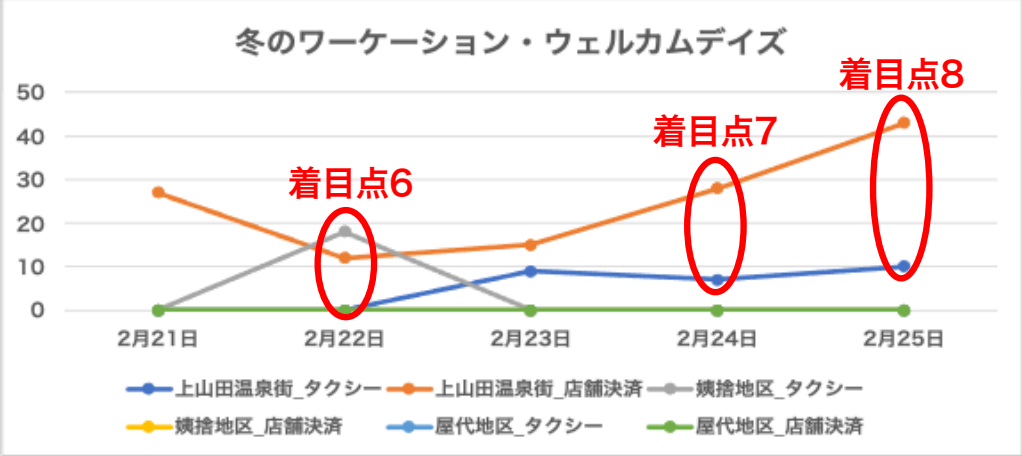
温泉MaaSによるタクシー移動先地区と店舗決済地区の相関関係をグラフに表しています。チケットの店舗決済対応は、ワークスペースのある地区で使えることで、その地区への移動を促進させる狙いがあります。しかし、結果の着目点を精査すると、ただ使えるだけでは移動促進は大きく関係しているとは言えず、イベント開催等による利用促進を行う必要があると考えられます。

(着目点1)姨捨ゲストハウスなからや(姨捨地区)で有志による懇親会を開催したためと考えられる。
(着目点2)ちくま「ぬい撮り」旅において和かふぇよろづや(屋代地区)を会場としたイベントを行なったためと考えられる。
(着目点3)姨捨ゲストハウスなからや(姨捨地区)で棚田交流会を開催。地元参加者が多く自家用車移動が多かったと考えられる。
(着目点4, 5)移動と店舗決済に相反が見られます。限られたチケット枚数を消費するなかで選択が行われたことが考えられる。
(着目点6)千曲市日本遺産センター(姨捨地区)でディナーイベントを開催。一方で本センターでは店舗決済に対応していなかった。
(着目点7, 8)上山田温泉街にて湯治ワーク・ワーケーションミーティングを行なったため、移動は少なく店舗決済が多くなった。









©ワーケーション・まちづくりラボ

3. 温泉MaaSによる地域回遊促進結果

温泉MaaS利用者の感想
温泉MaaSを利用した方からいただいた感想を掲載します。

利用者の感想

予想以上の金額が使えたので、お土産を大量に買うことが出来ました。使えるお店が多いと更に便利になりそうだとは思いましたが、現時点では非常に満足しています。

アプリDLせずにLINEで使用できる点が凄いと思いました。ユーザー視点の機能の使い易さが良かったです。

スムーズに利用できてよかった。タクシーの運転手さんも手際良く、観光者向けのお話もしてくれたため満足だった。

地元の方・行政の方の感想

温泉MaaSはなんとなく難しいと感じていたが、説明を聞いて実際チケットを使ってみて、簡単に使うことが出来た。

温泉MaaSはワーケーション期間中の移動を簡便化するため、参加者同士で仕組みを作り上げていったとのことだったが、既存の移動手段であるバスやタクシー、シェアサイクル等を活用するものなので、行政としても連携して取り組むべき課題かと感じた。

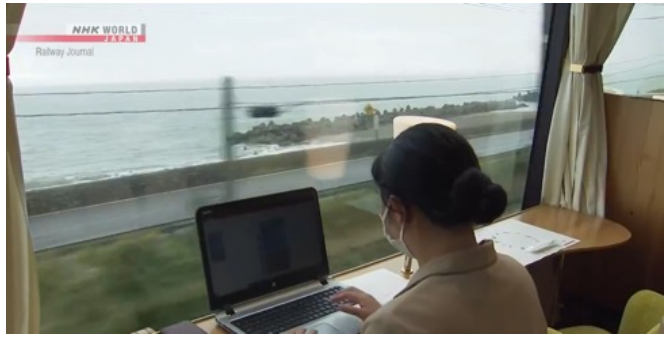
温泉MaaSを実際に使ってみて、お店での支払い・タクシー（配車含む）で使えるチケットLINEで配布・使用でき、手軽に使えるところに魅力を感じた。紙媒体のチケットや事業者ごとの決済アプリ等を準備する必要なく、配布側・使用側ともに負担が少ないと思われる。将来、高齢者や観光客の支援の参考になると個人的に思った。

©ワーケーション・まちづくりラボ

4. メディア・講演・支援実績

【メディア掲載実績（R3年度）】

2022/03/26	SBCラジオ	長野県・働くところ・住むところ~語ろう！信州のポテンシャル
2022/03/19	CNET Japan	温泉MaaSや寅さんゲストハウス--長野県千曲市で生まれる「働き方」を超えたコミュニティ
2022/02/15	ねとらぼ	ワーケーションで腸もスッキリ？　温泉地で5日間「腸活ワーケーション」
2022/01/06	るるぶ＆more	【長野・千曲市】観光列車「ろくもん」で“トレインワーケーション”。千曲市ワーケーションを体験してきました！
2021/12/28	IT Life hack	千曲市が地域資源を活用した最先端ワーケーションビジネスを展開！千曲市ワーケーション・ウェルカムデイズ
2021/12/09	ANGIE	働くだけじゃない！学びと出会いが生まれる長野県千曲市のワーケーションを体験
2021/12/08	Response	【MaaS体験記】観光列車で日本初のトレインワーケーションも、千曲市モデルに見る地域活性化の形
2021/11/29	Livhub	ワーケーションは「進化」している。長野県千曲市、学び深まる秋の温泉ワーケーション
2021/11/25	NHK WORLD JAPAN	Japan Railway Journal
2021/11/08	東洋経済	ワーケーションで従業員のウェルビーイング向上
2021/11/06	日本経済新聞	地方移動の不便さ、LINE基盤にMaaSで改善　購買促進も
2021/11/01	信濃毎日新聞	社会課題解決をテーマにした「秋のWWD」が掲載
2021/10/20	TURNS	地方複業の時代TURNS vol.49【10/20発売】
2021/10/15	NHK総合	長野 開催 観光列車の中で仕事 ”トレインワーケーション”
2021/10/14	NHK(信越、首都圏)	【鉄道の日】観光列車で“ワーケーション” 長野～新潟間
2021/10/12	日経クロストレンド	「温泉MaaS」「小売りMaaS」……　LINE活用で進む異業種コラボ
2021/09/26	Skima信州	千曲市で「ワーケーション」満喫！おすすめスポットと楽しむ方法を紹介
2021/09/08	AMP News	観光列車の平日運行と平日のホテル客室を有効利用　遊休資源活用の「信越トレインワーケーション」を開催
2021/09/08	鉄道チャンネル	日本初 観光列車乗り継ぎワーケーション、しなの鉄道やえちごトキめき鉄道で秋の信越路を愛でながら仕事
2021/06/22	Response	LINEが日本マイクロソフトと連携する理由…LINE プラットフォーム事業開発室 ビジネスデザインチーム 福田真氏［インタビュー］
2021/06/01	信濃毎日新聞	ワーケーション体験向上ツール「温泉MaaS」が掲載
2021/05/29	INTERNET Watch	長野県千曲市で「温泉MaaS」実証実験。市内のワーキングスペースと交通サービスを効率的に利用
2021/05/17	日経xTECH	“MaaS”で持続可能なまちづくりを！
2021/05/10	Livhub	ふろしきや、長野県千曲市で持続的な脱炭素社会づくりに向けたイベント「ワーケーション・ウェルカムデイズ」を開催
2021/05/01	NHK(信越版)	水素自動車を使った仕事風景がニュースにとり挙げられました。
2021/04/06	フジテレビ	仕事しながら景色と食事満喫 観光列車で”新しい働き方”



【講演・PR実績】

2022/03 静岡県御前崎市の招待を受けて「ワーケーションまちづくり・ラボ」として訪問・アドバイスを行いました。
2022/01 福島県の自治体・事業者向けにオンラインにて「ワーケーションまちづくり」をテーマに講演しました。
2021/11 NewsPicks主催「ワーケーションEXPO@信州」にて講演しました。
2021/10 国際大学グローバル・コミュニケーションセンターのオンラインイベントにてまちづくりに興味あるメンバー宛に
　　ワーケーション/温泉MaaSを題材にした「イノベーションまちづくり」について講演しました。
2021/10 青森県弘前市にてまちづくりプレーヤー向けに「関係人口化ワーケーション」をテーマに講演しました。
2021/09 日本マイクロソフトのウェビナーにて温泉MaaS＆ワーケーションについて講演しました。
2021/07 Developers Summit 2021 SummerにてMicrosoftとLINEの技術活用の事例として紹介されました。
2021/05 noteを活用して自主メディア「ワーケーション実験ノート」を関係者と立ち上げました。(4/14現在26記事)

オウンドメディア：ワーケーション実験ノート
https://note.com/workation_lab/

©ワーケーション・まちづくりラボ

5. ワーケーションイベント実施実績例

R3年度
参加者合計286名/宿泊数合計349泊

2021/8 真夏のWWD

2021/9 おうちdeワーケーション

2021/10 信越トレインワーケーション

名称	主なイベント内容	開催日	日数	参加人数	宿泊者泊数	温泉MaaS利用者	参加地域
第1回 ワーケーション体験会	棚田ワーク、スナックセッション、城ワーク	R元.10.9(水)～10.11(金)	3日	11名	9泊	－	県外8名、県内3名
第2回 絶景ワーク	長楽寺・棚田ワーク、姨捨夜景ウォーク	R2.7.20(月)～22(水)	3日	16名	9泊	－	県外2名、県内14名
第3回 城ワーク	サイクリング、姨捨夜景ツアー、交流会、瞑想体験	R2.9.23(水)～9.25(金)	3日	28名	22泊	－	県外15名、県内13名
第4回 温泉MaaSアイデアソン	温泉MaaSアイデアソン、瞑想体験、寺ワーク	R2.11.4(水)～11.6(金)	3日	31名	32泊	－	県外21名、県内10名
第5回 トレインワーケーション	ろくもんトレインワーケーション、沿線視察（飯綱、小布施）	R3.2.24(水)～2.26(金) ※温泉MaaSプレ実験	3日	32名	34泊	15名	県外14名、県内17名
第6回 初夏のワーケーション・ウェルカムデイズ	姨捨棚田田植え、ゼロ・カーボンセミナー、月の都撮影会、ヴィーガンBBQ	R3.5.22(土)～5.29(土) 温泉MaaS実証実験①	8日	79名	77泊	15名	県外23名、県内56名
第7回 真夏のワーケーション・ウェルカムデイズ	聖高原キャンプ場自然体験＆BBQ/自由研究プログラム、トレインワーケーション	R3.8.7(日)～8.13(金) 温泉MaaS実証実験②	6日	67名	104泊	18名	県外45名、県内22名
第8回 おうちdeワーケーション	千曲市ワーケーション取組紹介、ワークスペース紹介、おしぼりうどん体験	R3.9.29(水)	1日	12名	0泊	0名	県外12名
第9回 地元deワーケーション	千曲市ワーケーション取組紹介、おしぼりうどん体験、テラワーク体験	R3.9.29(水)～10.1(金) 温泉MaaS実証実験③	2日	19名	21泊	19名	県外7名、県内12名
第10回 信越トレインワーケーション	トレインワーケーション、妙高高原旅館・温泉、戸隠体験、戸倉上山田体験	R3.10.13(水)～10.15(金)	3日	14名	14泊	0名	県外5名、県内9名
第11回 秋のワーケーション・ウェルカムデイズ	信州フィールドワーク＆アイデアソン、トレインワーケーション、荒砥城お月見撮影会	R3.11.14(日)～11.20(土) 温泉MaaS実証実験④	7日	54名	88泊	42名	県外14名、県内40名
第12回 冬のワーケーション・ウェルカムデイズ	腸活ワーク、トレインワーケーション、輪読会、湯治ワーク、ストレッチ体操	R4.2.21(月)～2.25(金) 温泉MaaS実証実験⑤	5日	41名	45泊	29名	県外12名、県内29名

(参考)
千曲市ワーケーション事業全体紹介
https://furoshiki-ya.co.jp/workation_lab/

千曲市ワーケーション/温泉MaaS　申込LINE
https://lin.ee/ywFZDF4

©ワーケーション・まちづくりラボ

6. 事業推進関係者一覧

私たちのワーケーションまちづくり事業は多くの仲間と共に進めています。

事業主体	(株)ふろしきや
協力・支援	(一社)信州千曲観光局、千曲市、長野県(信州リゾートテレワーク事業、地域発 元気づくり支援金)
温泉MaaS開発	(株)ふろしきや 田村 英彦 (株)MaaS Tech Japan 清水 宏之 (株)クリエーターズ・ラボ 柳 充雄 WEBエンジニア 古澤 敦郎 LINE(株) 福田 真
イベント協同企画	(株)ふろしきや 田村 英彦 (一社)信州千曲観光局 山崎 哲也 (株)MaaS Tech Japan 清水 宏之（トレインワーケーション関連） EY ストラテジー＆コンサルティング(株)　早瀬 慶（ゼロ・カーボン関連） (合)KOUYO 坂下 彩花（PR） 長野県庁 環境政策課（ゼロ・カーボン関連）
トレインワーケーション	しなの鉄道(株)、(一社)信州千曲観光局
農業体験・食事提供・腸活	姨捨ゲストハウスなからや　鍛冶 博一(棚田提供) Fresco Labo　小林 賢一、白石 芽衣(メニュー開発、食事提供) LA FERME YODAKEN　依田 研一(ワインぶどう畑提供) クローブ工房　北條 昭宣(あんず農園提供) ウンログ(株)　長瀬 みなみ(腸活関連)
カメラ関連	(一社)信州千曲観光局 山崎 哲也 カメラブ(株)
温泉MaaS協力	畑山ハイヤー、更埴観光タクシー、信州千曲観光局、CLOUD CUKOO LAND、和かふぇ よろづや、グーギーズカフェ、姨捨ゲストハウスなからや、千曲商工会議所(屋代駅ウェルカムステーション)ずくだしエコツアーズ、千曲市(市バス関連)
場所提供	千曲市総合観光会館、姨捨ゲストハウスなからや、千曲市役所、善光寺大本願別院、ホテル圓山荘、CLOUD CUKOO LAND、和かふぇ よろづや、有田屋旅館、小石の湯、千曲館、梅むら旅館

©ワーケーション・まちづくりラボ

7. あとがき ～BEYOND WORKATION～

私には忘れられない場面があります。昨年11月のワーケーションプログラムでのアイデアソンにて、ある記者が取材中に急遽ワークショップに参加し、真剣に意見を言い、講師や参加者の声に耳を傾けていた姿です。その後、彼女が圧倒的な当事者意識を持って書いてくれた文章を以下引用させていただきます。

「異文化交流や、学び合い、多様性を体感するような機会としても、ワーケーションが誰でもできる身近なものになったらいいね」
具体的なアイデアの部分よりも、多様な私たちが、多様なまま、多様であることを楽しみ、喜び、その楽しい体験をみんなができる世界を、見たい世界として想像できたことが、何よりの収穫だったように思う。

引用元：ワーケーションは「進化」している。長野県千曲市、学び深まる秋の温泉ワーケーション by Livhub

ワーケーションには自分らしい生き方を表現したり、働き方や時間の過ごし方を自分で決める自立性を促す、大きな効果があります。そして、その先の人との出会いで「多様な人たちが多様なまま、お互いを背中を押し合い支え合う世界こそが、豊かな世界である」と、実は私たちはワーケーションを通して感じていたのだと、この文章は教えてくれました。私たちはワーケーションという狭義の概念にとらわれることなく、ワーケーションから共有しつつある「見たい世界観」をより具体化するために今後も活動したいと考えています。この文章を読んでいただいた方にも、素晴らしい出会いがあること祈り、またどこかで私たちと出会うことがあれば、意見交換をできればとてもうれしく思います。ご一読ありがとうございました。

あとがき文責：ふろしきや 田村 英彦

(参考)千曲市ワーケーション　メッセージ動画　https://youtu.be/h1y0TSDAmg0

©ワーケーション・まちづくりラボ